

目標設定シート (2009年度)

部局と評価項目・要素

対象部局	教育学研究科
大項目	6 教育内容・方法・成果
中項目	6.3 教育方法
小項目	6.3.1 教育方法および学習指導は適切か。
要素	教育目標の達成に向けた授業形態（講義・演習・実験等）の採用 履修科目登録の上限設定、学習指導の充実 学生の主体的参加を促す授業方法 研究指導計画に基づく研究指導・学位論文作成指導（院） 実務的能力の向上を目指した教育方法と学習指導（専院）
小項目	6.3.2 シラバスに基づいて授業が展開されているか。
要素	シラバスの作成と内容の充実 授業内容・方法とシラバスとの整合性
小項目	6.3.3 成績評価と単位認定は適切に行われているか。
要素	厳格な成績評価（評価方法・評価基準の明示） 単位制度の趣旨に基づく単位認定の適切性 既修得単位認定の適切性
小項目	6.3.4 教育成果について定期的な検証を行い、その結果を教育課程や教育内容・方法の改善に結びつけているか。
要素	授業の内容および方法の改善を図るための組織的研修・研究の実施

○2009年度からの目標

1. 実践的な志向を持つ学生に対応した授業形態を検討する。
2. シラバスと授業内容との整合性について、継続的に検証する。
3. 教育学研究科における成績評価のあり方について、問題点の抽出と改善の方策を継続的に検討する。
4. 修士論文・博士論文の指導体制について、実施結果の検証を行う。

○指標

1. 「教育学研究科の教育課程および授業形態を継続的に検討する委員会の有無と検討の進捗状況」「履修者数規模別の授業科目数」「少人数授業の授業形態の調査」「規模別講義室・演習室の使用状況」「マルチメディア教室の稼働率」
2. 「学生による授業評価の実施率」「学生の授業評価におけるシラバスの有効性に関する質問への肯定的な回答比率」
3. 「教育学研究科の教育課程を継続的に検討する委員会の有無と開催頻度」「各授業科目の成績分布」
4. 「学生へのアンケート調査」